



夏、少年会員育成に 心をかけよう

6月大教会教会長会議

立教188年6月22日

大教会長 片山 幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R250623-0627-15
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)

<https://www.honjima.com>
Email: webmaster@honjima.com

大教会 朝夕おつとめ時間
【6月1日～8月31日】

朝づとめ 午前6時00分
夕づとめ 午後7時00分

5月25日に実施された「斯道会別席団参」には「心躍る陽気なおちばがえり」をめざして、80名の別席者を含み853名がご帰参くださいました。大勢の方にお帰りいただきありがとうございました。

斯道会団参はもう一度、11月30日に実施されます。特に今回お帰りのただけなかった方には、11月にチャンスがありますので、お互いその日を楽しみに、い、い、い、おたすけに努めさせていただきます。

さて、夏休みの少年会員育成の前に、今日お話ししたいことは4つあります。

まず一つ目、7月27日より8月3日にかけて、「こどもおちばがえり」が開催されます。これは本部行事として、皆さん一丸となって人材育成に尽力されます。こういうときに、それぞれのご家庭の信仰を子どもた

ちに伝えることも大切だと思います。繰り返し伝えていく中で、ぶれない信仰を心に根ざすことができるのではないのでしょうか。

二つ目は、い、い、い、の自覚です。私自身のい、い、い、の自覚を振り返ったとき、父が若くして出直したことで、

私は17歳でアメリカから日本に帰国し、大勢の皆さまのご真実をいただき、日本の高等教育へ編入できたこと。そういった人生の節目にあつて、その当時私はい、い、い、の自覚ができたかどうかは分かりませんが、信仰の代を重ねてきていることはとてもありがたいことなのだ、ということには自覚できたと思いますし、その気持ちがある今日の信仰につながっていると思います。

三つ目は、少年会員の最終年である15歳は、人生において大きな岐路に立ちます。15歳の誕生日は、心の成人においてそれまで親の責任から自分の責任で歩みが始まる貴重な日として、信仰を改めて伝えることをさせていたきたい。

最後に四つ目は、子どもたちに教祖のお話をしましょう。理想としては教会の教祖殿にて、教祖はお姿を拝することはできなくても、今なお

ご存命で私たちを見守り、導いてくださる親であることを伝えさせていただきます。その親心は稿本天理教教祖伝や逸話篇にたくさん記されています。

どうぞよろしく願っています。
ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)



年祭活動の仕上げ、 ストレートに布教を

大教会准役員
大上道徳



教祖年祭活動の仕上げの年も折り返しを迎えた本島大教会6月月次祭、只今は大教会長様を志に結構に陽気に勇んでつとめさせていただきましたことを心よりお慶び申し上げます。さて、私ごとになりますが、去る5月は忘れ得ぬひと月となりました。まず5月11日は、本権分教会創立100周年記念祭を大教会長様をお迎え

して勤めさせて頂きました。続いて大教会の神殿奉仕当番。22日の大教会月次祭では少年会本部島村正規先生のご出向をいただいて「縦の伝道講習会」が行われ、斯道会別席団参、さらに月末は第4回「ようばく一斉活動日」と、大変充実した一ヶ月間でした。大きなふしを無事乗り越えることができたという実感であります。

さて、私が初めて取り組んだ教祖年祭活動は、教祖110年祭でした。

今からちょうど30年前、布教の家埼玉寮に入寮して3ヶ月目の6月に、私は初めて別席者を連れて、おちばがえりさせていただきしました。翌7月は「こどもおちばがえり団参」を実施しました。この時の感激やら失敗談を今日お話ししたいと思います。

毎日倒れそうな自分の心と闘い、真

柱様よりいただいた「勇氣と根氣」のお言葉をみずからに言い聞かせながら、大きな夢と希望をもって一軒ずつ戸別訪問に歩くのですが、なかなかうまくいかないのが現実であります。

まったく自分に自信が持てず、インターホンを押すたびに心の中はいつもドキドキ・ハラハラ・ビクビク・オドオドと情けないありさまで、「この先どうなるんだろう」と本気で悩みました。ほとんどの自宅では冷たく断られますし、話を聞いてくれるどころか、おさづけのお取り次ぎなんて無理という状況で、自分との闘いの日々でありました。

それまで、布教の家に入ったら布教のテクニクをたくさん教えてもらえるのだと思っていましたが、何も教えてくれないのです。本当です。毎朝お願いづとめをつとめて、すぐ出発です。とにかくやるしかないんです。これが辛かったです。それでもだんだんとお話を聞いてくださる方に出会えたり、初めておさづけを取り次がせていただいたとき、初めてお茶を出していただいた日、初めて御供をしてくださった日など、どれも忘れられない自分だけの宝です。何ものにも代えがたい喜びがそ

こにありました。

入寮してすぐ取り組んだのが「こどもおちばがえり団参」でした。寮生同士、話し合いを重ねるのですが、系統も違えば信仰の価値観も違う血気盛んな寮生同士でなかなか話し合いがまとまらないのです。それでも何とか帰参者150名を心定め、神殿に大きな垂れ幕を墨書して掲げ、その目標に向かって4月から毎朝神殿掃除前に十二下りお願いづとめをつとめました。チラシをたくさん作って配り、公園に行っては大縄跳びをして子どもたちと仲良くなって勧誘、子ども会や説明会を重ね、小学校の下校時間を狙ってピッキーなどの着ぐるみを着てチラシ配り、あるときはチンドン屋みたいに着ぐるみを着て幟を立ててラジカセでテーマソングを流しながら歩いた神名流しならぬ「こどもおちばがえり流し」など、とにかくできることは何でもやりました。

それから大宮支部内の教会、布教所を手分けして全部行かせていただきました。

5月末、寮生主催の「陽気ぐらし講座」開催に向けて、一人500枚のチラシを渡され、何とか配り終えた

き、このまま寮に帰っては申し訳ない、本来の戸別訪問をして帰ろうと一軒のお宅を訪問しました。すると庭先に杖を持って立っている80歳になる老主人と出会いましたので、声をかけました。

お話によると、脳梗塞で半身が不自由とのことでした。そこでおさづけのお話をする居間に上げてくださり、お取り次ぎとなりました。

このとき、私は何かピンと感じるものがありました。それは先ほど、こどもおちばがえり勧誘のとき大宮支部内のある教会で聞かせていただいたおたすけ話でした。水垢離をして毎夜0時のお願いづとめを21日間願えば必ずたすかると、野宿から教会をご守護いただかれたある教会長さんの話です。

そこで私はその老主人のおたすけに、21日間のお願いづとめとおさづけの取次ぎを心定めました。毎夜眠い目を擦りながら、深夜の水垢離、そしてお願いづとめ。やっと済ませて布団に入ったら、あつという間に早朝こどもおちばがえりに向かっての十二下りお願いづとめ。毎日とても眠かったのですが、私にとって初めて真剣に取り組んだ心定めで、が

んばってやり抜きました。

話はそれますが、私の涙が止まらなくなったある布教師のアドバイスをご紹介します。

一つ目、に、い、が、け、は一人です歩いてはダメ。どんなときも「おやさま、おやさま」と唱えて、教祖の手足となり、教祖を信じ切つて、教祖と共に歩かせていただくこと。信仰とは信じて仰ぐこと。

二つ目は、無駄が大事。布教では嫌われること、断られること、笑われ誘^そられることの連続ですが、この無駄をたくさんすること。そうして通って行くと、自分の心が削られ、磨かれ、神様の御用材として使つて頂ける。

三つ目は、時間の御供^{おごな}。月日は親神様。真柱様も天皇陛下も総理大臣も、同じ一日24時間を過ごしている。寮生は昼食を抜いて布教に歩くのは、昼食を御供して歩かせていただいている。おたすけにかかったら、寝る時間や、自分の時間を御供して、理づくり^{りづくり}に励む。その時間を大切に。

話を元に戻します。そうやって心定めて最終の21日目、私は事前に老主人へ教務支庁の神殿でおさづけを取り次がせて頂く約束をしていまし

たので迎えに行きましたが、どうしても行かないと言われます。私は何か特別なご守護の姿を見せていただけるものだと信じて21日間がんばってきたので、落胆してしまい、ショックでに、い、が、けに歩けなくなつてしまいました。教務支庁の神殿でお詫びの十二下りを勤めながら、とにかく涙が出て仕方ないのです。自分の都合を相手に押しつけていた心得違いに気づき、心がすっきりしました。

翌日、気を取り直して老主人のお宅へこれまでのお礼を伝えに出かけました。すると老主人はスーツを着て車のエンジンをかけて立つておられます。どこかに出かけるのか尋ねると「教務支庁」と言われます。早速その車で教務支庁へ向かい、神殿でおさづけを取り次がせて頂くことになりました。その時、私は「私と一つ約束してください」とお願いしました。「明日の夜、ここからおちば^{おちば}行きのバスが出ます。私と一緒におちばがえりしてください」と言いましたら、「行ってみようかな」との答えでしたので、私は思わず心の中でガッツポーズしました。帰参費用もその老主人が出していただけることになりました。

おちばがえりでは早朝、天理に到着したバスが本島詰所で私たちを降ろしてくれました。父は本部朝づとめに出かけていましたので、私たちは朝食を食べたのち、老主人には部屋で休んでいただくことにしました。

それから青年会の活動だったと思いますが、奈良駅へ路傍講演に行くからと誘われ、老主人のことは気になりながら詰所に置いて出かけました。そして清々しい心で詰所に帰ってきたところ、その老主人は身体をガタガタ震わせて失禁しているのです。とても危険な状態であることは明らかで、このまま出直してしまうのではないかと不安になり、私はどうしたら良いか分からずオロオロしました。

そこに父が部屋に帰ってきて「お前、本部は行ったのか」「まだです」「かんろだい、へ走つて来い」と言われ、情けなくもようやく初めておちばの神前でお願いづとめを勤めました。詰所に戻ると、父が老主人におさづけを取り次いでくれていて、鮮やかなご守護をいただきました。その時の父の姿がとても神々しく偉大に見えました。

翌日、車椅子で月次祭を参拝させて頂き、無事に初席も運ぶことがで

きました。さらに証拠守りを戴きに
教祖殿御用場へ向かうところで、不
自由だった老主人の足が動き、みず
から階段を登ることができた姿には
とても驚きました。

こうして父や皆さまのおかげで、
無事に大感激のおちばがえりをする
ことができました。

そして一ヶ月後には、「こどもお
ちばがえり」がやっています。

埼玉寮では150名の心定めをしてい
たので、大型バス3台予約してがん
ばっていたのですが、なかなか思う
ようにはいかず、2台に減らし、さ
らに1台になりました。しかし天理
教土壇場物語はそのまま終わらせ
ん。諦めない私たちは、結果的に大
型バス1台と中型バス1台の総勢75
名の帰参者をお与え頂き、感激のこ
どもおちばがえり団参ができました。
無駄はなかったのです。そしてこの
ときは、詰所帰りではなく、まず初
めにおちばがえりさせていただきま
した。

さて、年祭活動も終盤を迎え、私
たちにとって大切な時期になります。
なかなかスイッチが入らない方もい
らっしゃるかもしれませんが、そんなと

きは、とにかく笑顔で通ること、笑う
ことが大事だと思います。口角を30秒
間上げること、脳からドーパミンが
分泌されるそうです。脳が錯覚してや
る気スイッチが入るのです。

現在、さまざまな布教スタイルが
あります。福祉、災害隊、里親、聞
き屋、SNSなど、今の時代に合わ
せた手段はいろいろあります。野球
に例えると、カーブ、フォーク、ス
ライダーなど変化球になります。こ
れらも大切ですが、何よりストレ
ートが基本でしょう。

ストレート布教。直球勝負に、現
代の変化球をハイブリッドさせるこ
とです。ストレートに磨きをかける
ことが大切な年祭活動だと私は思
います。

最後に少年会本島団の団長という
役目から申し上げます。

少年会が終わると、次は学生会に
なります。その架け橋になるのが、
学生生徒修養会です。昨年、我が家
の次女が少年会を終え、高校生にな
りました。そこで学修参加を勧めた
のですが、嫌がる娘に何度もねばり
強く説得して、ようやく学修に送り
出しました。あんなに嫌がっていた
のに、おちばやお道の何かを感じて

喜んで戻ってきてくれました。

どうかそのことも意識して、切れ
目なく、根気よく丹精くださいまし
ことをお願い申し上げ、今日の話に
させていただきます。



しやんして心さためてついてこい
すゑハたのもしみちがあるぞや

(五号 24)

ご清聴誠に有難うございました。

(文責・本島通信編集室)

六月月次祭 祭典役割

献饌長 西山道教
伝 供 永島宗行・大上道德・
原口実・後藤正治・伊東康成・
高垣光治・雲庵春彦・片山直明・
高島栄造・長尾海和・窪田卓夫・
岩橋秀一・香川勝巳・鎌田典夫・
宮路和徳・村田輝夫・橋口徹・
古井信・上山康雄・川村吉夫・
江草克二・溝口晋太郎・田中
宏教・長濱充憲・松下尚一・
肥後信
雅楽奉仕者 池田恒治・片
山秀明・上山薫・伊東賢太郎・
鎌田康典・吉田貴慶・香川
靖幸（順不同）

祭主 指図方	大教会長		座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
	平井真治郎				
	厩者				
	片山 勲 老木邦光				
地 方	老木邦光		原口 実	雲庵春彦	高島栄造
	平井真治郎				
	窪田靖明				
	横山富明				
てをどり	大教会長		大上道德	後藤正治	片山直明
	牧野道昭				
	寺本教生				
	会長夫人				
ち ゃ ん ぼ ん	岩橋竜造		伊東康成	永山晴明	窪田卓夫
	篠原丕王				
	岩橋慶三				
	井上 哲				
太 り が ね	吉田晴雄		横山正次	永島宗行	橋口 徹
	西山道教				
	長尾澄子				
	池田さわみ				
三 味 弓	片山 榮		片山孝子	向所暉美子	上田敬子
	池田さわみ				
	片山 孝子				
	長尾善絵				
神 殿 講 話	大上道德		片山孝子	向所暉美子	長尾善絵
	片山 孝子				
	片山孝子				
	長尾善絵				

六月月次祭祭文

立教百八十八年六月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理
王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太
慎んで申し上げます。

親神様には陽気ぐらしを見て共に楽しみた
いと人間世界をお創め下さり旬刻限の到来
と共に教祖をやしるにこの世の表にお現れ
下さりよろづ委細の真実と元を教えて世界
たすけの道をお啓き下さいました親心の程
は誠に有難く勿体ない極みでございます
私共はこの大きな親心に包まれて日々積み
重なる御厚恩に御礼申し上げつつ心勇んで
たすけ一条の御用に励ませて頂いておりま
す

その中にも今日の吉日は当大教会の六月の
月次祭を執り行わせて頂く日柄を迎えまし
たので役目に与る奉仕者一同が一手一つに
心を揃えて座りづとめてをどりを陽気につ
とめさせて頂きます

御前には折からの夏を思わせる暑さの中も
いとわず集いました教え子達が日頃賜
わる厚き御守護に御礼申し上げ尚も変らぬ
親心にお縋りする状をもご覧下さいまして
親神様にもお勇み下さいますようお願い申
し上げます

尚去る五月二十五日に実施されました「斯
道会別席団参」「心躍る陽気なおちばがえ
り」を目標に八五三名内別席者八十名がお
ちばに帰らせて頂き御存命の教祖に無事
にお連れ通り頂いた御礼と併せて年祭への仕

上げの後半に向つてたすけ心いっぱい新
たな決意をお誓い申し上げる次第でござい
ます

尚来る七月二十七日から八月三日まで恒例
の「こどもおちばがえり」をはじめ「少年会
本島団おつとめ総会」並びに「鼓笛隊夏季合
宿」が実施されるに当りこの機会に「御存命
の教祖のお話し」「それぞれの家のいんね
んの自覚」などの話を通して育成会員が喜
びと感謝の心を少年会員に写せるようあら
ゆる機会に声を掛けながらおちばに帰らせ
て頂きたいと存じます

何卒親神様にはこの上共に変らぬ親心を
もってお仕込み下さり陽気ぐらし建設に役
立つ人材の育成に一層のお導きとお育ての
程を一同と共に慎んでお願い申し上げます
（原文のまま）

入社祭

（立教188年6月22日）

▼本備前△浅田絢平

【計1名】

6月22日（日）
【香川県丸亀市】

天 候 曇一時晴後一時雨
最低気温 22.9℃
最高気温 34.5℃
平均気圧 1006.7 hPa
平均湿度 76 %
平均風速 1.8 m/s
日照時間 6.6 時間
降水量 0.0 mm

神峰分教会 神殿落成鎮座奉告祭

神峰分教会(橋口徹会長、鹿児島市)では、昨年5月26日のお運びで「神殿建築願」の理のお許しを戴いておりましたが、工事が予定通り完了しましたので、大教会長を迎え(随行・岩橋慶三役員)、6月7日午後7時より鎮座祭、翌8日午前9時30分より奉告祭を執り行いました。参拝者102名。

神峰分教会は昭和47年5月26日に設立いたしました。神殿は設立以前の神峰布教所



時代に購入した木造平家建の中古建物に2階部分を増改築したもので、築後50年以上が経過し、老朽化により傷みが激しい上、月次祭には大勢のようばく信者が参拝するようになり、建物の耐震強度に不安を覚える状況にいたったので、役員信者一同話し合いの上、心を定め、神殿建築を願ひ出るようになりました。

当初は同じ鹿児島市内の山林にある飛地境内地への移転建築を目指していましたが、市の整備計画の変更や延期が相次いだことから、建築に必要な基盤設備がないこととものなう整備費用や、ようばく信者の参拝手段など総合的に検討した結果、将来おちばに正対した神殿の移転建築を目指しつつ、このたびの普請は現在地にある神殿と教職舎を取り壊し、同じ場所に木造2階建の神殿教職舎1棟を建てることのお許しをいただきました。

お運び後、まず昨年5月31日に教会から徒歩7分の距離にあるようばく宅の神床へ親神様、教祖の御目隠様ならびに祖霊様を遷座申し上げました。

その後、既設建物を取り壊し、8月1日に地鎮祭。続いて市の建築許可を得るのに時間を要し遅れての施工となりましたが、業者の協力のもと工事が進捗し、本年2月2日に上棟式、当初お許しいただいた6月の日程では、外構工事の一部を残したものの建物の内装工事は完了し、無事に鎮座奉告祭を迎えることができました。

6月7日の鎮座祭は、大教会長祭主のもと、大勢の参拝者が参拝場を埋める中、真新しい神床に親神様・教祖お目隠様ならびに祖霊様を厳かにつつがなくご鎮座申し上げました。

翌8日は、例年より早く激しい梅雨空のもと、奉告祭が執り行われました。

挨拶に立った大教会長は一手一つに神殿落成の日を迎え

たことにお礼を申し述べた上で、新神殿の使い初めにあたり、5つの角目を述べられました。「①教会は箱のようなもの。玩具を入れれば玩具箱、宝物を入れれば宝箱になるように、神峰はたすけ合いと陽気ぐらしの箱のような教会を目指すこと」「②ひのきしんする教会」「③布教する教会」「④おちばへ心をつなぐ教会」「⑤親神様の教えを帯(はづき)にして、日々心のほこりを払う教会」の5つを説かれました。

続いて座りづとめ・てをどりが、陽気に勇んで勤められ、参拝者は熱心にみかぐらうたを唱和しました。

記念撮影後、直会(なおらい)は鹿児島市内のホテルに移動し、施工業者の皆さまもお招きして、手作りの演芸が次々に披露され、新たな門出を祝いました。

なお新神殿教職舎は、木造瓦葺一部ガルバリウム鋼板葺2階建てで、神殿は間口5間に奥行2間の檜板張、参拝場は間口5間に奥行2間の20畳敷となっております。

大教会長動向

▼7月(予定)▲

- 3日、香川教区役職者会議
- 22日、大教会月次祭執行
- 24日、修養科門出まなび
- 25日、かなめ会委員会
- 26日、本部月次祭参拝
- 26日、少年会本島団 おつとめ総会
- 27日、8月3日、こどもおちばがえり

- 27日、31日、鼓笛隊夏会合宿
- 29日、鼓笛隊前夜祭
- 30日、鼓笛隊オンパレード、御供演奏出演

- 31日、本島鼓笛隊総会
- 以上

ろくぢ会

(立教188年6月分)

- ▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太
 - ▼本樺△天上ほの香・はる香・太吉
 - ▼本浜△片山清枝・正枝・誠
 - ▼崇徳分教会
 - ▼本高分教会
 - ▼本新田△友松貴史
 - ▼ポートランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次
- ご芳志に厚くお礼申し上げます

タミナル教会 神殿屋根葺替奉告祭

タミナル教会(清水ロバート・マサミ会長、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロスアンゼルス市)では、去る3月26日のお運びで「神殿屋根葺替願」の理のお許しを戴きましたので、去る5月31日午前10時より大教会長を迎え(随行・大西知役員)、神殿屋根葺替奉告祭を執り行いました。参拝者14名。

タミナル教会は1966年2月14日、清水道善3代会長就任と同時に現在地へ移転してまいりましたが、以来およそ60年が経過し、神殿および教職舎と車



庫の屋根の老朽化がすみ、ついに一昨年8月の台風では祖霊殿付近にバケツでは間に合わない程の雨漏りとなる状況となったことから、直ちに屋根葺替工事が必要となり、アスファルトシングルにて葺替工事を行いました。

奉告祭当日は、気温28℃、南カリフォルニアらしい快晴の天気恵まれました。

英語で挨拶に立った大教会長は、1週間前の斯道会別席団参前夜祭にて左膝を痛めてしまい、タミナル教会の奉告祭が勤められるかどうか不安だったことから、「この痛みは、親神様・教祖の親心からのメッセージだと受け止めています。このたびの屋根葺替や、私の膝痛のように、何かを直さなければならぬとき、そこには必ず親神様から、心を直すためのメッセージがあります」と、ふしに対する受け止め方を述べた上で、「論達第四号において真柱様は

大裏地区田植えひのきしん

御本部の献饌物や御供米に使われる大裏地区(天理市豊田町)の水田で、手植えによる田植えひのきしん。年祭活動の初年より始めて3回目となる今年は6月24日午前9時

『二れつ兄弟姉妹の自覚に基づき、人々が互いに立て合いたすけ合ひ、陽気ぐらしの生き方が今こそ求められている。』とお示しくださっています。私たちは親神様・教祖を心の拠り所とする兄弟姉妹であるという自覚のもとに、陽気ぐらしの教えを広く伝え実践し、人の善いところを見出し、他人を尊重し、困っている人に救いの手を差し伸べるよう努めましょう」と促されました。

なお奉告祭に先立ち、30日午後7時より鎮座祭が執り行われ、親神様・教祖お目標様ならびに祖霊様をつつがなくお社へご鎮座申し上げました。



より、33名が参加しておこなわれました。

始まりは小雨が降っていましたが、ひのきしん者は裸足で泥田に入り、一列にならび、係員の号令に合わせながら、水田一反を約90分間かけていいねいに田植えをおこないました。

係員の説明によると、ひとつの苗でご飯一膳分、一反では一族が一年間消費するほどの米の収穫が見込まれるとのこと、一粒万倍という教祖のお言葉が実感されました。なお稲刈りは10月24日におこなう予定です。どなた様もご参加いただけます。

青年会マンスリー隊

青年会本島分会(伊東賢太郎委員長)で毎月実施している「帰ろうぜ!本島!マンスリー隊」を6月は21日に第9回を行い、12名が参加しました。(青年会員6名、OB4名、女子青年2名)。鼓笛物品積み込み、調饌をおこないました。次回は7月20日実施予定です。



【教会の掲示版】
本島ドットコムよりダウンロードできます

計報

栄峰分教会初代会長夫人

大矢栄子姉

おおよそ
大矢栄子姉(栄峰分教会初代会長夫人)は去る6月11日お出直しになりました。享年88歳。
葬儀は6月12日ならびに13日、栄峰分教会において営まれました。

事情はじぶ

立教188年6月26日、本島関係のお運びはありませんでした。

おさづけの理拝戴

(立教188年5月分)
雄福峰 荒谷真知子

【計1名】

修養科第二〇〇八期修了

(立教188年6月27日修了)

本太 加々美 務
霊峰 宮路ゆかり
大隅聖峰 伊藤真希

【計3名】

をびや許し

(立教188年5月分)
本水島 谷 裕佳
馬木尾 福井理恵
銀峰 後藤絵里奈

【計3名】

証拠守り下附

(立教188年5月分)
同朋2 【計2名】

すき間のおはなし

「ことばと表現」90点S判定

筆者は今春より某大学の通信

教育部に入学し、学問の学び直しをおこなっています。スリリングに問い、確かな情報や事実を調べ、考察し、共有可能な言葉で論述する。その学ぶ過程が楽しくて仕方がありません。

さまざまな科目の中で、まず最初に「ことばと表現」(大学で書く日本語の基礎)を選択して受講し、先日初めて単位修得試験を受けました。本島通信編集を23年間やってきた立場上、決して落とすことは許されないと、個人的なプレッシャーをみずからに与えながら取り組みました。結果は、90点S判定と高評価だったことを、安堵感とともにここに報告いたします。

以下、試験の設問と私の論述です。よかったらお目通しくださいませ。

皆さんだったら、どんな文章を書いてみますか？(むかいじよ)



【設問】

現在、自分の関心のある事柄について、他人の意見を紹介し、それに対して自分の意見を述べる形の文章を書いてください(内容のいかんは問いません)。他人の意見は引用してもよいが、その場合は200字以内に収めること。直接の引用はしない場合も、他人の意見の出所がきちんとわかるように記すこと。(600～800字) 制限時間60分間。

【解答】

私がかねがね気になっているのは、オリンピックなどでメダルを取った女性アスリートについて、決まって「美人○○」というぐあい、美人という言葉が多につけられることだ。美人とは個人の主観による感覚であるが、どのような女性アスリートでも、たとえば笑顔の上目遣いや、真剣な眼差しの横顔など、写真の撮り方で美人という形容を付けたがる。

男性アスリートの場合、わざわざ美男○○とか、イケメン○○と、なかには呼ばれる人もい

るが、その割合は女性にくらべて圧倒的に少ない印象だ。その違いは、女性であるがゆえに、無言のうちに周囲が「女性らしさ」を求める空気があるからではないだろうか。

米紙「ニューヨーク・タイムズ」で、2021年6月30日の紙面に「控えめな態度が求められる日本女子、アスリートとしての夢へのハードルは高い(註1)」との見出しで、日本の男女格差について報じている。

女性アスリートが真剣に上を目指そうとするとときに避けて通れないのが、女性らしくないとか、男性にもてなくなるとか、いずれは妻となり母となるといった固定観念を打破することだ。コーチすらそうした色メガネを通して女性アスリートを見ており、いずれは家庭に入るのだからと行儀作法を指導することまである。(註2)

少し昔のことになるが、2011年ワールドカップで「なでしこジャパン」が優勝したとき、日本中が歓喜に湧いた。2021年東京五輪では女子ソフトボールが宿敵アメリカを下し金メダルを獲得したのも記憶に新しい。

ところがひとたびスポーツライต์が消えると、サッカーやソフトボールを目指す女性に対する視線はどうであろう。目焼ける、体格がごつくなる、いわゆる「女性らしくない」という目で見ることはないだろうか。

視点を移せば、女性の歓心を得るために「きれいだね」「若いね」「美人だね」という言葉を使う発想そのものも、見えにくい差別の土壌になっているのではないだろうか。

(註1)原文

「Expected to Be Demure, Japan's Girls Face Steep Hurdles to Athletic Dreams」(註2)クリエ・ジャポン編「海外メディアは見た 不思議の国ニッポン」講談社現代新書2651、2022年、176～184ページ



写真：本部朝づとめに差し込む朝日

※統計[中席]について。詰所事務所へ「中席報告書」の提出があった分のみ集計しています。1人が2席以上運んだ場合は、実数1となります。中席報告書の提出を忘れた教会は本島通信編集室までご一報ください。

レッツゴー青年会in九州

【青年会本島分会】

- 日時：7月12日(土)午後1時～
7月13日(日)正午解散
- 場所：赤峰分教会
- 内容：剪定ひのきしんなど

学生生徒修養会 高校の部

【天理教学生担当委員会】

- 期間：令和7年8月9日～8月13日
- 受講対象：高等学校に在学し、全期間受講できる者(親里管内については天理高校第Ⅰ部の自宅通学生に限り受講可)
- 募集人員：800名(男女各400名)
- 内容：講話、グループワーク、レクリエーションなど。※別席を受けられる方は9日午前席を運んでください。
- 集合：8月9日正午(昼食を済ませてからご集合ください)詰所にて受付票を受け取り、受付票に記載されている宿舎に集合してください。
- 解散：8月13日午後2時頃(予定)
- 受講御供：10,000円
- 申込期間：5月25日～7月25日
- 申込方法：要項をダウンロードしてご確認ください。
- お問合せ先：
雲庵春彦 090-2515-8039
横関茂治 090-1138-1690

大教会7月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：7月22日大教会7月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：
メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：7月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。

統計 (5月1日～31日)

教会名	初席	中席	雲子座	修養料	教人講習	検定講習	教会名	初席	中席	雲子座	修養料	教人講習	検定講習
本島	2	3					赤峰	2	5				
本田中	1	1					雅峰		2				
本樺	1						南峰	1					
本室		1					神峰	1	2				
本恵		1					豪峰		1				
本恵山		1					雄福峰	1	1	1			
本千代	1	1					雄山峰		1				
本吹田		1					栄森峰	3	2				
同朋		2					栄星峰	1	1				
本幹	1						實峰		1				
安藝本中		2					大隅聖峰	1	3				
本陽泉	1						大松峰	1	3				
本迪		1					大駿峰	3	2				
本清水		1					吉松峰		1				
与島		2					新信峰	2					
本勇	1	1					鶴峰	3	4				
本高	1						仙峰		2				
本肥港	1						合計	29	49	1	0	0	0

布教部報告(6月分) 数字は本年の提出回数です

にをいがけ名簿提出教会 (6月)						おさづけ取次報告教会 (6月)					
本島	5	本米里	6	本小倉	5	本島	6	本千治	4	本山陽	3
本樺	6	本米浜	6	本陽山	6	本樺	6	本千恵	5	本新田	6
本田中	4	本千代	6	本肥港	5	本田中	4	本平濱	5	赤新峰	6
本倉岡	6	本千賀	5	本新田	6	本倉岡	6	本攝津	5	雅峰	6
本樺	6	本千治	5	赤峰	6	本陸奥	4	本吹田	6	神峰	5
本室	5	本千恵	4	雅峰	6	本樺	6	本泉	6	豪峰	5
渋谷	5	本攝津	5	南峰	6	本室	5	本邦	5	倉峰	5
代々木	4	本津	6	神峰	5	渋谷	5	本太	6	栄峰	1
本萬代	5	本泉	5	豪峰	6	代々木	5	本萩	5	大雄峰	4
本都	5	本太	6	倉峰	5	本萬代	6	本岡	4	雄福峰	6
本京	6	本萩	5	栄峰	1	本都	6	本清保	4	雄山峰	6
本東	6	琴浦	4	大雄峰	5	本京	6	本備前	6	栄星峰	6
本道盛	3	本福	2	雄福峰	5	本東	6	本迪	4	栄東峰	4
本草	6	本清保	4	栄森峰	5	本道盛	6	本府中	5	霊峰	6
本護	4	本備前	6	栄星峰	5	本草	6	本沖浦	6	大隅聖峰	5
本三	6	本府中	5	栄東峰	6	本三	6	本亀	4	大松峰	6
本恵	6	本沖浦	6	霊峰	6	本恵	6	本清水	4	大駿峰	6
本恵山	3	本亀	3	大隅聖峰	5	本恵明	6	本崇徳	6	大英峰	5
本恵明	6	本清水	3	大松峰	3	本静濱	6	本与島	4	文峰	2
本静濱	6	本崇徳	6	大駿峰	6	本静森	1	本廣	2	肥後八峰	5
本静森	5	本与島	4	大英峰	5	本日米	4	本勇	4	新信峰	5
本日米	5	本勇	3	文峰	6	本浜	6	本高	6	鶴峰	6
本浜	5	本高	6	鶴峰	6	本米里	6	本宣道	3	都峰	6
本米	6	本宣道	5	都峰	6	本米里	6	本九	6	仙峰	6
本米臺	2	本九	6	仙峰	6	本米浜	6	本小倉	5	ミッドエスト	4
						本千代	6	本陽山	6	カガパワック	2
						本千賀	6	本肥港	6	ハリウッド	4
										シータック	1
計 75 教会 610 名						計 84 教会 2,162 回					

大教会からの お知らせ

6月22日教会長会議連絡事項

教会長登殿参列

【登殿参列係】

- 7月26日月次祭登殿参列者(教会名)
本桶川・本千恵・攝竜・本海・本廣島・
フィリッピン・銀峰・都峰・マリー
ナ(順不同)

※本島大教会の登殿参列は今回が最後
になります。

- 登殿参列集合について

詰所で教服を着用し、午前7時30
分写真の間集合してください。諸
説明後、バスにて出発します。

※教服の貸出はありませんので、各
自でご用意ください

- 登殿参列係：平井真治郎役員

こどもおちばがえり

【教会本部】

こどもおちばがえり要項

- 期間：2025年7月27日～8月3日
- 要項：インターネットで検索
「こどもおちばがえり」で検索できます
- 申込キーについて：5/22各教会に「申
込キー通知書」を配布しています。
カレー食の申込と婦参予定人数はイ
ンターネットでの事前申込となります。
申込責任者登録時に申込キーを
入力してください。

青年会マンスリー隊

【青年会本島分会】

おもに祭典準備ひのきしんを行います

- 実施日：立教188年(2025年)
7月20日(日)、8月9日～11日

学生会サマーキャンプ

【本島学生担当委員会】

- 期間：8月18日(月)～20日(水)
- 会場：本島大教会
- 内容：海浜行事、ひのきしん、こか
ん様に続く会
- お問合せ：雲庵春彦担当委員長

少年会本島団おつとめ総会

【少年会本島団】

立教188年天理教少年会本島団
第35回おつとめ総会

- 期日：7月26日午後1時～7時30分
- 会場：本島詰所
- 対象：少年会員
- 内容：13:00集合受付、13:20開
会式、おつとめ練習、おつとめ着
着付け、16:00おつとめ総会、夕
食、お楽しみ行事、19:30閉会式、
解散
- 携行品：足袋またはタビックス、
着物の下に着る肌着
- お問い合わせ：
大上道徳 090-9430-2461

MOMOの会

【婦人会本島支部】

婦人会みちのだい育み塾

MOMOの会「女鳴物勉強会」

- 期日：7月30日(水) 13:00～16:30
7月31日(木) 8:30～11:00
- 会場：本島詰所北棟1階和室
- 内容：女鳴物勉強会(琴、三味線、
胡弓をお選びいただきます。初め
ての方も安心してご参加ください)
- 託児申込：7月10日まで
- 持ち物：琴爪(貸出しもあります)
- 申込方法：MOMOの会担当者に
直接ご連絡いただくか、
QRコードを読み取り公
式LINEの申込フォーム
からお申込みください
- MOMOの会担当者：永島すすみ(洪
谷)、平井由紀子(樺太)、片山美穂(本攝)

こかん様に続く会

【婦人会本島支部】

- 期間：8月20日(水)午前8時～9時
- 会場：本島大教会
- 対象：高校生、女子青年
- 内容：こかん様のお話

関東の集い

【青年会本島分会】

- 日時：8月31日(日) 9:00～
- 会場：渋谷分教会
- 対象者：16歳～60歳前後の男女
- 参加御供：500円
- 内容：グループワーク、ひのきし
ん、パーベキュー

7月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- 期間：7月21日～22日
- 派遣：本浜

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：7月25日～26日
- 派遣教会：本京、本高

〈本島鼓笛隊夏季合宿ひのきしん〉

- 期間：7月26日～31日
- 派遣教会：樺太、渋谷、本浜、本岡崎、
本九、赤峰②

〈こどもおちばがえりひのきしん〉

- 期間：7月31日～8月1日
- 派遣教会：渋谷、本攝、本篠、赤峰
- 期間：8月2日～3日
- 派遣教会：本京、本攝、本邦、赤峰

鼓笛隊夏季合宿

【本島団鼓笛隊】

第114回本島団鼓笛隊夏季合宿

- 期間：7月26日(金)～7月31日(水)
- 会場：本島詰所
- 対象：小学1年生～高校3年生ま
での男女
- 内容：7/26おつとめ総会、7/29前
夜祭、7/30鼓笛オンパレード&鼓
笛お供演奏、こどもおちばがえり
諸行事参加
- 参加費：6,500円(宿泊費・食費含む)、
送迎費2,000円(片道・往復問わず
一律)
- 服装：練習着(Tシャツ・短パン・
帽子・ボシセット)を貸与。洗濯は
26日～29日まで実施
- 携行品：白靴、健康保険証のコピー、
下着、靴下、パジャマ、タオル、
洗面道具、入浴道具、室内運動靴、
常備薬、マスク
- 小学1～3年生：男女ともドリー
ム隊ユニフォームの下に着る白タ
ンクトップと白パンツ各2枚(ボク
サータイプ不可)
- 小学4年生以上：半袖Tシャツ2
枚(本番用)、楽譜、ファイフ(持っ
ていない場合は1,000円にて用意し
ます)
- 申込締切：7月10日まで各分隊担
当までご連絡ください
- 相談窓口：
佐藤道子 090-7570-4807